



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床研修部 中川 暁子

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 中川 暁子

【指導医】

聖路加国際病院 一般内科 西澤 俊紀

「5種類以上の薬剤を服用されている65歳以上の方が入院中に転倒しうる危険性の検討」

1. 研究の対象

2016年4月から2024年3月までに当院に入院された65歳以上の方で、入院前に5種類以上の内服薬を最低7日以上内服された方

2. 研究の目的・方法

おひとりの患者さんが5種類以上の常用薬を併用されている状態を「ポリファーマシー」と呼びます。特に65歳以上の方では、様々な病気が併存していることが多く、常用薬の数もその分増加する傾向にあります。しかし、このようなポリファーマシーの状態では、せん妄（意識の混乱）や認知機能低下、転倒、骨折などの副作用を起こしやすいことが指摘されており、例えば、入院中にポリファーマシーの患者さんが転倒された場合、骨折などによる入院期間の延長や退院後の機能的自立・生活の質の低下などを及ぼしうるといえます。今回、このような副作用の発生を予防すべく、特に入院中の状況に絞ってポリファーマシーの患者さんと転倒の関係性を調査し、どのような状況で入院中に転倒しやすいのか、また処方薬を減らすことなどで転倒を予防することができるのかなどについて分析をおこないます。そして、このような研究を通じて、ポリファーマシー状態の改善や入院中の具体的な転倒予防策を提示していくことを目指しています。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年8月13日を予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録（カルテ）より抽出するデータ項目は以下となります。

《情報》

患者 ID、性別、年齢、身長、体重、BMI、入院時の記録 など